

かな書体  
ぬばたまみんちょう

Ver.2



# ぬばたまみんちょう

漢字・イワタ新聞明朝 M  
16級28歯送り

このごろ時々写真機をさげて新東京風景断片の採集に出かける。技術の未熟なために失敗ばかり多くて獲物ははなはだ少ない。しかし写真をどうという氣で町を歩いていると、今まで少しも気のつかずにいたいろいろの現象や事実が急に目に立って見えて来る。つまり写真機を持って歩くのは、生来持ち合わせている二つの目のほかに、もう一つ別な新しい目を持って歩くことになるのである。

顕微鏡も、やはりわれわれの目のほかのもう一つの目である。この目で手近な平凡なもののをのぞいて見ると自分のいる周囲の世界が急に全然別物のように見えて来る。これは物の尺度の相違から来る観照の相違である。写真機の目の特異性はこれとはまた大いぶちがつた方面にある。この目はまず極端な色盲であって現実の世界からあらゆる色彩を奪ってしまう。そうして空間を平面に押しひしいでしまう。そうして空間を平面に押しひしいである。

しまう。そうして、その上にその平面の中のある特別な長方形の部分だけを切り抜いて、残る全部の大千世界を惜しげもなくむざむざと捨ててしまうのである。実に乱暴にぜいたくな目である。それだけに、なろう事ならその限られた長方形の中に、切り捨てた世界をもいっしょに押し縮めたようなものを収めたくなるのである。それだから、カメラをさげて秋晴れの郊外を歩いている人たちはおそらく幾平方センチメートルの紙片の中に全武藏野の秋を圧縮して持つて来るつもりで歩いているのであろう。少なくも自分の場合には何枚かの六×九センチメートルのコダック・フィルムの中に一九三一年における日本文化の縮図を収めるつもりで歩くのであるが、なかなかそういうまくは行かない。しかしそういうつもりで、この特別な目をふらさげて歩いているだけでもかなり多くの発見をすることがある。

寺田寅彦「カメラを下げる」(青空文庫)より

16級22歯送り プロポーショナル+カーニング

このごろ時々写真機をさげて新東京風景断片の採集に出かける。技術の未熟なために失敗ばかり多くて獲物ははなはだ少ない。しかし写真をどうという氣で町を歩いていると、今まで少しも気のつかずにいたいろいろの現象や事実が急に目に立って見えて来る。つまり写真機を持って歩くのは、生来持ち合わせている二つの目のほかに、もう一つ別な新しい目を持って歩くことになるのである。

13級18歯送り プロポーショナル+カーニング

顕微鏡も、やはりわれわれの目のほかのもう一つの目である。この目で手近な平凡なものをのぞいて見ると自分のいる周囲の世界が急に全然別物のように見えて来る。これは物の尺度の相違から来る観照の相違である。写真機の目の特異性はこれとはまた大いぶちがつた方面にある。この目はまず極端な色盲であって現実の世界からあらゆる色彩を奪ってしまう。そうして空間を平面に押しひしいでしまう。そして、その上にその平面の中のある特別な長方形の部分だけを切り抜いて、残る全部の大千世界を惜しげもなくむざむざと捨ててしまうのである。実に乱暴にぜいたくな目である。

アイスクリーム

きなこもち

ストロベリー・パフェ

ミルクティー

フレンチトースト

インフォメーションテクノロジー

コンセプチュアルアート

プロジェクトマネージメント

コンピュータネットワーク

インタラクティブコミュニケーション

ユーザーインターフェイス

グラフィックデザインとタイポグラフィ

あやめ

いちょう

さくら

あじさい

きんもくせい

ひまわり

つつじ

さるすべり

やまぶき

もみじ

たんぽぽ

ほうせんか

つゆくさ

すみれ

デスクトップパソコン  
デジタルカメラ  
スマートスピーカー  
ディスプレイ  
ストリーミングデバイス  
ディスクドライブ

クラムチャウダー  
スクランブルエッグ  
いちじサンドイッチ  
チョコフラペチーノ  
ベイクドチーズケーキ